

妙高・赤倉山パウダースキー報告

【山城】上越 妙高山

【日程と天気】2019年2月11（月）曇り

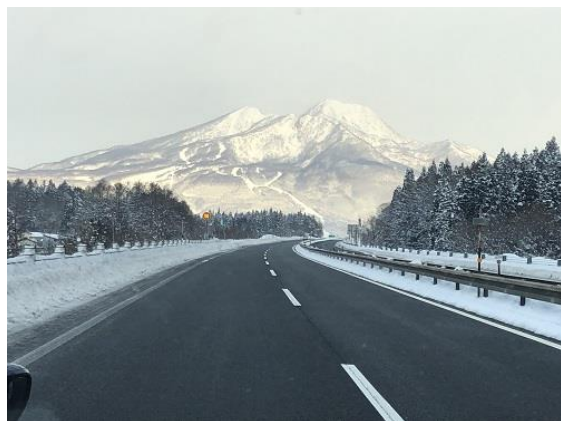
【メンバー】CL 菊池・鶴田・渡辺（俊）・加藤・瀧瀬・会員外3名

【行程】

妙高杉ノ原スキー場ーゴンドラ終点（1480m）ー赤倉山（1920mP）ー赤倉観光ゴルフ場ー道路（710m）



- ・当初予定していた藤巻尾根のスタート地点駐車場には、除雪した大量の雪があり、入山出来ず急遽代替え案として準備していた上記行程に変更となった。
3連休最終日とあって、スキー場はかなりの混雑。ゴンドラ往路の1回券を購入して長蛇の列に並びます。終点からほどない入口からスタートです。





(ゴンドラ終点から入山)



(林道から尾根にとりつく)

今日もすでに先行者がいるのでトレースが明瞭にあります。



(ブナとダケカンバが素晴らしい、ルンルン気分でハイクアップ)

信濃町に4年住んでいたCLはこの山の事は良く知り尽くしていて、林道を下ってしま
うと登り返ししなくてはならないので、トラバース気味にコースを取りながら下降スタ
ート地点まで進みます。

もう間もなく下降スタート地点に差し掛かろうとする最後の登りで、左側がかなり切れ

ている場所でトップの後に続いた二人目が、左足元から崩れ始め危険な状態になりました。それ以降に続く人たちは右に迂回しながら無事に狭い下降開始点に到着。雪底もあり現況確認をしないと危険です。



(1902mP 直下急斜面のトラバース登高は危険、TAさんは危険を回避してツボ足で)



- 準備を終えて下降開始。ところが開始すぐはかなりの傾斜と深雪に、ビビった私は滑る事を忘れてしまったように、危ないと感じると転んではいけないのに転んで(尻もちをついて)しまいます。これには諸先輩方も「困った!」と思われたようです。リュックの中身を渡し軽くした事と傾斜が緩くなった事でいつもの自分を取り戻す事が出来ました。

俊ちゃんの「今日一番うれしかった事は瀧瀬さんがいつもの滑りを取り戻した事！」
本当にたくさん助けていただいて、ありがとうございました。

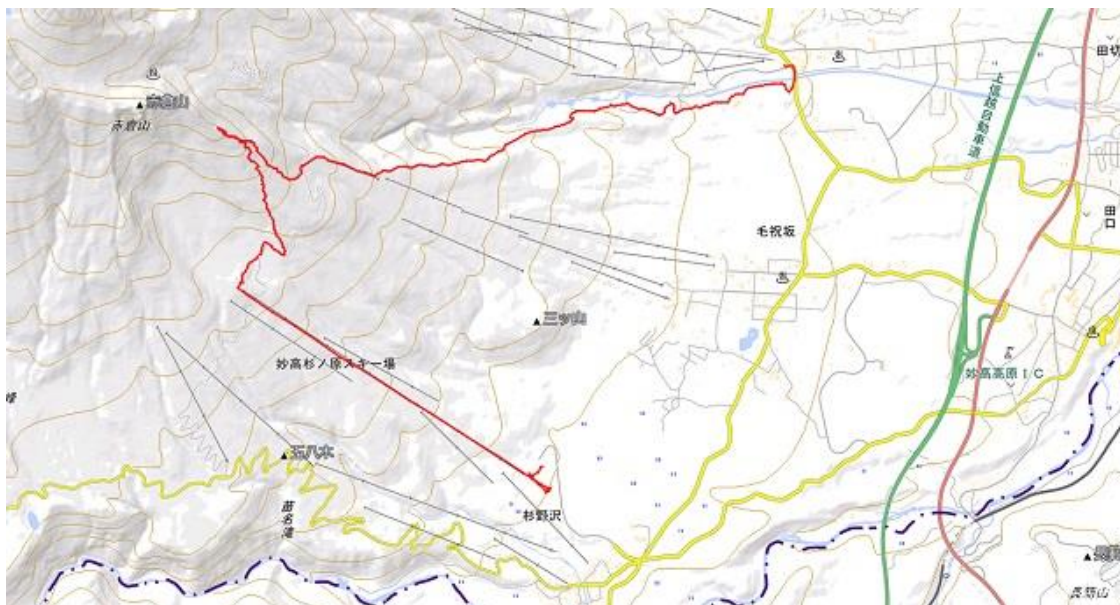


(果敢に鶴パウを攻めるレジェンドTRさん、好きこそものの上手なれ、)
そして、やや混みあった感じのブナの林をいい感じに新雪を楽しむことが出来ました。
男性陣からは今日も雄叫びが！最高齢のTさんには「鶴パウ～！」と声がかかります。
まるで生クリームの中を滑るように、夢見心地のパウダーと楽しみました。
そしてゴルフコースまでの道のりは、雪質が板にまとわりつく悪コンディションに変化。
かなりの長い平坦な距離を歩いたり滑ったりしながら、無事に下山しました。

妙高杉の原ゲレンデ行きのバスが 16:05 には乗りたいので、やや急ぎながらバス停に向かいました。このゲレンデも外国人には人気エリアのようでした。



(池の平スキー場旧ゲレンデ上部の林道の降り立つ) (赤倉ゴルフ場へのルート最後の急斜面、重パウ滑走を楽しむ俊ちゃん)



(滑走標高差 1210m の楽しいロングルートを堪能しました。)

